

令和7年度 学力選抜試験における注意事項

北九州工業高等専門学校

※受験前、必ず一読しておいてください。

1. 集合日時等

(1)集合日時 令和7年2月9日(日) 午前8時40分(厳守)

受付時間は、午前8時から午前8時40分までです。

(2)検査当日まで体調管理に努めてください。検査日前または当日に欠席することが判明した場合は必ず早急に連絡を行うようにしてください。

(3)受験者は、必ず受付(学生課前)で受験票を出して係員の指示を受け、掲示により自分の検査室を確認してください。

(4)交通渋滞、天候異変等不測の事態に備え、万全を期して時間に遅れないようにしてください。

(5)集合時間に遅れた受験者は、受付に申し出て指示を受けてください。

※学力検査開始時刻から20分を経過して検査室に到着した者は、受験できません。

2. 持参するもの

(1)受験票 検査中、机上の受験番号札の横に置き、監督者の照合を受けてください。

(2)筆記具類 黒鉛筆(HB)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能のみ)

(3)昼食 各自持参してください。学生食堂、売店は開放しませんので、自席にて食事を摂るようお願いします。

※上履きは必要ありません。

※「シャープペンシル」、「シャープペンシルの芯」は、メモ・計算用として持ち込むことができますが、マークシートには使用することはできません。

3. 諸注意

(1)検査開始前に必ずトイレは済ませておいてください。検査中にトイレに行きたくなったとき、気分が悪くなったときは、手をあげて監督者の指示を受けてください。

(2)検査開始・終了の合図は、監督者の指示に従ってください。

(3)検査中は、監督者の指示に従い、静かに行動してください。検査室に入室後は、私語を慎んでください。

(4)不正行為は厳禁です。不正行為をしたときは、直ちに退室を命じて不合格とします。

(5)検査開始後は、(1)のトイレ・気分が悪くなったときを除き、その教科が終了するまで退室を認めません。

(6)下書用紙は配らないので、必要な場合は問題冊子の余白を利用してください。

(7)解答は、該当するマーク部分を HB の黒鉛筆で正しく塗りつぶしてください。

(8)検査中は、筆箱、ボールペン、下敷き、定規、四則演算機能及び英単語等の記憶装置の付いた時計、携帯電話や電子機器類(腕時計型・眼鏡型などのウェアラブル端末を含む)などは、電源を切ってカバンの中にしまってください。

(9)昼食は、検査室の自席で摂るようにしてください。休憩時間や昼食時等で他の人との接触、会話は極力控えてください。

(10)カバン類は、午前9時までに検査室後方の所定の場所に整理して置いてください。

(11)ハンカチ・ティッシュペーパーを使用する場合は、無地(文字などがプリントされていない)のものを検査開始前に机に出しておいてください。なお、ティッシュペーパーは外側のカバーは外して、ティッシュペーパーのみにしてください。

※合格者への合格通知書及び出身学校長への選抜結果の通知書は合格発表日時以降
(令和7年2月18日10時以降)に発送します。

令和7年2月18日10時以降に、本校ウェブサイト合格者を掲載しますが、ウェブサイト記載の情報は速報版であり、正式の合格通知は、合格者本人及び出身学校長に通知書を送付することで行います。

◎自然災害等、不測の事態が発生した場合、本校ウェブサイトで対応をお知らせしますのでご確認ください。

4. 交通機関の案内

- ◎モノレール利用者・・・「志井駅」または「企救丘駅」で下車してください。
いずれの場合も本校まで徒歩で約15分です。
- ◎JR 利用者・・・「志井公園駅」で下車してください。本校まで徒歩で約15分です。
- ◎西鉄バス利用者・・・「北九州高専前」で下車してください。本校まで徒歩で約2分です。

※駐車場はありません。路上駐車、近隣施設への無断駐車は迷惑となりますので、公共交通機関をご利用願います。

◎付添いの方へ

付添いの方は、原則校内での待機ができません。ただし、8時40分までは校内ロータリー周辺まで入校しての送迎は認めます。

独立行政法人国立高等専門学校機構

北九州工業高等専門学校

〒802-0985

北九州市小倉南区志井5丁目20番1号

担当:学生課入試広報係

TEL:093-964-7251 FAX:093-964-7236

E-mail:g-nyushi@kct.ac.jp

国立高等専門学校に出願された皆様

マークシートの塗りつぶし方法について

解答には必ずHBの黒鉛筆を使用し、「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおり に塗りつぶしてください。

マーク部分が「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおり に塗りつぶされていない場合は、解答が無効になることがあります。

マーク部分塗りつぶしの見本					
良い例	悪い例				
●	し		○	■	○
	し点	棒	薄い	はみ出し	丸囲み

○受験番号の場合

一番上のマーク欄が「1」だと勘違いし、一段ずれている。

受験番号欄							
百万位	十万位		万位	千位	百位	十位	一位
1	2	—	3	4	5	6	7
●	○	/	○	○	○	○	○
①	●		①	①	①	①	①
②	②		●	②	②	②	②
③	③		③	●	③	③	③
④	④		④	④	●	④	④
⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	●	⑤
⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	●
⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

○択一式(選択肢の中から該当する一つを選択する方法)の場合

解答は、問1(1)、(2)のように、一行(一つの欄)に対して、一つだけ塗りつぶしてください。

(3)のように、二つ以上塗りつぶしたり、(4)のように一つも塗りつぶしていない場合は、問1(3)、(4)の得点は与えられません。

問1	(1)	ア	イ	●	エ	オ
	(2)	ア	●	ウ	エ	オ
	(3)	●	イ	ウ	●	オ
	(4)	ア	イ	ウ	エ	オ

解答を訂正するときは、きれいに消して、消しずを残さないでください。

問2(1)のように消し残しがある場合や、(2)のように、どちらを消したのか(塗りつぶしたのか)判断できない場合は問2(1)、(2)の得点は与えられません。

問2	(1)	ア	イ	●	○	オ
	(2)	○	イ	ウ	エ	○

一つの問題で複数の解答を求められた場合(例:「正しいものを三つ選べ」という問題で、「ウ」、「オ」、「キ」を塗りつぶす場合)

特に指示がないかぎり、順番が違っていても、「ウ」、「オ」、「キ」の3つが塗りつぶしてあれば得点が与えられます。

一行に、複数のマークを塗りつぶすと得点は与えられません。

問3	ア	イ	●	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	●	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	●	キ	ク	ケ	コ

問3	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	●	ク	ケ	コ
	ア	イ	●	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	●	カ	キ	ク	ケ	コ

問3	ア	イ	●	エ	●	カ	●	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ

○数学や理科など、計算により値を求める問題を解答する場合

計算により求めた値に該当する数値を塗りつぶします。

値に-(マイナス)の符号がつく場合、-の符号を塗りつぶします。

解答欄の行数と塗りつぶすために必要な個数は一致します。行数が三つならば正の数値で3桁の値、または負の数値で「-」(マイナス)の符号がついた2桁の値になります。

解答欄「アイウ」に「126」と解答する場合。(正の数で3桁の値)

ア	-	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
ウ	-	0	1	2	3	4	5	●	7	8	9

解答欄「エオカ」に「-83」と解答する場合。(負の数「-」(マイナス)の符号がついた2桁の値)

エ	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9
カ	-	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

意図的にマス目の数を増やしておき、桁数に満たない場合は最初の数値を0(ゼロ)と塗りつぶす(あるいは何も塗らない)方法は使用しません。解答欄「コサシ」と3マスであった場合で「21」と解答する場合、以下のような解答方法にはなりません。

「コサシ」の3マスに、「021」と記入する解答方法にはならない。

コ	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
シ	-	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9

ただし、小数点以下の値を求める場合は、0(ゼロ)を塗りつぶすことがあります。

解答欄「スセソ」と3マスで、「小数第3位を四捨五入して小数第2位で答えよ」といった設問で、「0.20」と解答する場合。

ス	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
セ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
ソ	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

分数の形の解答は、それ以上約分できない形で解答してください。分数の形の答えに-(マイナス)の符号がつく場合は、分子につけ、分母につけてはいけません。分子が先で分母が後になります。

例えば

$-\frac{3}{4}$ の場合、 $\frac{-3}{4}$ となります。この解答を $\frac{-6}{8}$ と解答しても正解にはなりません。

「タチ」

タ	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	-	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9
ツ	-	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9

「ツ」

根号を含む形で解答する場合も、根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答します。

$4\sqrt{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$ のように解答しても正解にはなりません。

「テ」 $\sqrt{\text{ト}}$

テ	-	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9
ト	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9